

## 平成25年度第1回 化学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成25年10月2日(水) 19:00~21:00  
II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室  
III. 出席者: 幅田委員長 堀合副委員長 及川副委員長 小林委員 庄野委員 武岡委員 木村委員  
(事務局) 井端事務局長、森下、松本

### IV. 資料

- 資料① 平成25年度化学教育FD/ICT活用研究委員会の活動計画  
資料②-1 化学教育における教育改善モデルについてアンケートの内容  
資料②-2 化学教育における教育改善モデルについてアンケート集計結果  
参考1 学びの革命世界が舞台(新聞情報)  
参考2 これからの大学教育等の在り方について(平成25年5月教育再生実行会議第三次提言資料)  
参考3 教育振興基本計画(平成25年6月閣議決定資料)  
参考4 学士課程教育の現状と課題に関するアンケート調査(平成25年8月中央教育審議会資料)  
その他 平成25年度委員名簿、平成25年度公益社団法人私立大学情報教育協会事業計画書

### V. 議事内容

#### 1. 委員長、副委員長の選任について

堀合委員は委員長、小林委員、及川委員は副委員長に選任した。

#### 2. 平成25年度の化学教育FD/ICT活用研究委員会の活動計画について

平成25年度は、能動的学修の実現に向け、ICTの活用を含めた効果的な学修の取り組み方策、教員の教育指導の開発について今後一層研究を進めるため、サイバーFD研究員の先生方へのアンケートを踏まえた見直しを2回の委員会で行う。その上で、平成26年度に向けた教育改善モデルの一層の充実・改善及び実現に向けた研究の意識合わせを行う。

#### 3. 教育改善モデルのアンケートの検討について

資料②-1によりサイバーFD研究員の先生からいただいた8件の意見について内容を検討した。

#### 4. アンケートの主な意見

(1) 化学教育における学士力の考察の到達目標、到達度

概ね賛同するとの結果が得られた。

主な意見と検討内容(意見は①~③、検討内容は\*で示す)

① 到達目標1において、一般レベルであっても希望者(あるいは一定の成績を修めた者)には、実験とレポートを課す方が良いと思います。

\* 統制モデルではないので、個々の大学で柔軟に考えていただきたい。

② 学士力の考察の表現で、「化学教育は、~役立てられるようにすることである。」について、環境保全、食の安全など「物質の創成」以外の視点が抜けているのではないかと。

\* 到達目標は修正せず、学士力の考察の表現を見直す。

③ 単に化学系の学科に限らず、他分野の学科における到達目標や到達度を明示しても良いと考える。

即ち、全分野の学科における教養としての化学の到達目標・到達度を掲げた上で、化学系の学科に於ける専門的到達目標・到達度を別途掲げることで、各大学や学科でのカリキュラムポリシーの改善が容易になると思います。

\* 学士力の考察「化学リテラシー教育の一般レベル」の表現ではご理解いただけていないようなので、改善モデル1「1. 到達度そして学生が身に付ける能力の〈一般レベル〉」に「例えば文系などの化学を教養として学ぶ学生を対象とした水準」というような具体的な表現に修正する。

(2) 教育改善モデル

賛同する意見が多数であるが、高校でのレベル差がある学生には能力に応じた「eラーニング」の取り組みは有効と思うなどの意見をいただいた。

(3) 専門性、教育力、FD活動と課題

概ね賛同の意見であり、画一的でなく、多様性に満ちた教育を提供する仕組みが必要などの意見をいただいた。

5. 次回までの課題

見なおしを検討する部分については次回までの課題とし、各委員に見直し案を作成してもらう。

6. 社会の動きなどを踏まえた能動的学修等の動向の意識合わせについて

参考1 学びの革命世界が舞台（新聞情報）、参考2 これからの大学教育等の在り方について、参考3 教育振興基本計画、参考4 学士課程教育の現状と課題に関するアンケート調査等を報告し、新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて、国・社会から様々な提言が行われており、大学に改革行動が求められていることや、能動的な学びを実現する授業改善の取り組み、全学的な教学マネジメントの課題と対策、教員の教育力向上の課題、情報通信技術（ICT）を活用した授業改善への取り組みと課題等について意識合わせを行った。

昨年までの5年間にわたり研究を進めた「大学教育への提言」未知の時代を切り拓く教育とICT活用で提案した内容が学士課程教育の現状と課題に関するアンケート調査の結果や内閣府、中央教育審議会等の方向と一致しており、このことを踏まえて平成26年度にむけた教育改善モデルの一層の充実・改善及び実現に向けた取り組みを研究することを確認した。

7. 次回の委員会

日時：メーリングリストにて調整

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室